



Team石川



小中一貫CSだより第52号 令和2年7月28日 文責：千葉 敦
めざす子ども像(15歳の姿)：自己の健康管理・安全管理に努め、文武両道に根気強く取り組む生徒

不審者対策避難訓練

7月14日(火)、小学校で、石川駐在所の渡部さんを講師にお招きして、避難訓練を実施しました。校内に不審者が侵入したという想定で、不審者が来た場合には放送の指示をよく聞くことと、不審者が取り押さえられるまで先生の指示に従って教室から出ないことをねらいとして実施しました。

体育館に全員避難してからは、DVDを試聴しながら、渡部さんから不審者や危険な場所についてお話がありました。子どもたちは、不審者は親の知り合いの振りをして声をかけてくることや、周りの目が届かない場所に潜んでいることなどを学びました。また、校内では先生方の指示で身を守ることができますが、校外では自分の判断で自分の身を守らなければならないことも学びました。幸い石川地区は地域住民の目が行き届いているため治安がよく、不審者の話を聞いたことがありません。今後も、子どもたちを見守ってくださるようお願いいたします。



町会児童会



7月20日(月)、小学校で、夏季休業中に町会活動に積極的に取り組むことと、地域の危険な場所を確認して安全に生活することを目的として、町会児童会を実施しました。当日は、石川地区主任児童委員齋藤輝雄さんを始め、大沢地区の小田桐誠一郎さん、乳井地区の廣田伸之さん、薬師堂地区の白取義人さんの3名の子ども会育成委員、そして石川公民館の少年教育指導員土岐奈緒子さんに来ていただき、行事についてのお話しや夏休みの生活についての助言をもらいました。

また町会ごとに5・6年生が中心となって、行事の日時や、町内のどこに危険な場所があるのかを確認して、有意義な夏休みになるような話し合いをしました。

今年の夏休みは、コロナの影響で授業時数確保のため、小・中学校ともおよそ3週間と短くなりました。川遊びの禁止や、小学生は午後6時まで、中学生は午後7時までには帰宅するなどの指導は学校でも行います。しかし休み中は先生方の目が届かなくなるので、地域のみなさまからのご指導や見守りを、よろしくお願いします。

期末参観日・保護者集会

7月2日(木)、小学校で、広く地域に学校活動を紹介するために、1日参観デーを実施しました。朝の七夕集会から多くの参観者が訪れ、子どもたちの活動を見ていただきました。4月の参観日・PTA総会ができなかったので、午後の学級懇談にも多くの保護者が参加して学級担任と熱心に情報交換していたようです。その後のPTA集会では、校長が改めて学校運営方針を説明しました。また、1学期の児童のようすや、コロナ対策を踏まえた2学期以降の学校行事についての説明がありました。



7月20日(月)には、中学校で授業参観と期末保護者集会がありました。多くの保護者に来ていただき、午後の授業を参観してもらいました。その後の全体集会では、校長から1学期の教育活動や生徒のようすについてお話がありました。また生徒指導担当から、夏休み中の生活についての諸注意と家庭へのお願いが話されました。引き続いての学級集会

でも、活発な情報交換が行われたようです。

小・中学校とも、コロナによって行事は大きな影響を受けました。しかし、授業時数は確保されていますし、学習の定着も例年に比べてほとんど変わりはありません。2学期以降も新しい生活様式に基づき、子どもたちの成長のために教育活動を全力で進めていきます。今まで以上に、地域のみなさまのご協力をお願いします。



石川小・中学校整備事業説明会

7月30日(木)の午後6時30分より、小・中学校保護者と地域住民を対象にした説明会が、小学校体育館で行われます。今までの意見交換等に基づいて策定された基本構想について、具体的な説明があるそうです。学校からのお便りや回覧板等で案内が届いていると思います。同じ敷地の中に、学区の主要な施設である小・中学校、公民館、出張所、児童館が集まるという大きな事業ですので、興味のある方はぜひご参加ください。